

## この夏、216ヶ所に、576名の学生が参加する インターンシップ参加学生数・参加率 全国女子大学No.1※ その取り組みとは？ ～自律し自立した女性を育成するための手厚いサポートを紹介～

跡見学園女子大学(文京キャンパス:東京都文京区大塚1-5-2/新座キャンパス:埼玉県新座市中野1-9-6)では、学園創立者 跡見花蹊の「新時代に後れをとらぬ女子の教育こそ、教育家として努力すべき道である」という考えのもと、創立当初より教養教育を行いながら、社会での実践を重視する教育、「教養実践」を行っており、これを通じて自律し自立した女性を育成しています。この「教養実践」の一つであり、学生の就職活動において近年その重要性が増しているインターンシップ(就業体験)において、**本学は学部生の参加学生数と参加率で全国の女子大学第1位という成果をあげました。**共学の総合大学を含めても、参加学生数で第15位、参加率は第8位という順位です。教員と就職課職員が受入先の企業や自治体等を開拓し、**今年度は216ヶ所へ576名がインターンシップ・学外実習に参加する予定となっています。**

参加者数だけでなく、質においても効果を高めるべく、インターンシップ前後に参加学生を対象とした研修会の開催や、受入先企業への訪問など、事前準備やフォローを細やかに実施。併せて、インターンシップだけでなく、就職全般について学生が相談しやすい体制づくりにも取り組んでいます。今回は本学のインターンシップ・就職活動に関するサポートについてご紹介いたします。

### ◆ 跡見学園女子大学 インターンシップに関して

本学ではマネジメント学部2年生の全員が必修で参加する「アカデミック・インターンシップ」と、就職課が全学部の学生を対象に実施する「ATOMIインターンシップ」の2種類のインターンシップを用意しています。また、2015年4月開設の観光コミュニティ学部でも2年次必修の「基礎ゼミナール」において、今年度よりインターンシップ・学外実習を実施します。



<アカデミック・インターンシップの様子>



<ATOMIインターンシップ 事前研修の様子>

インターンシップを推奨し、就職に対する意識を高めた結果、2015年度においては卒業生908名のうち、811名が就職希望し、就職希望率は89.3%。うち766名が就職し、就職率は95.7%となりました。(2016年5月時点)

本学では、学生と企業のニーズにマッチした就職支援を行うべく、女子大生の悩みを解決する最適な学びの場や環境・設備を提供し、更なる学生生活や夢の実現へのサポートを展開して参ります。

※「インターンシップランキング」、『大学ランキング 2017』2016年4月14日、p98-99、朝日新聞出版の掲載データを元に算出。

◆大学に関するお問合せ先◆

跡見学園女子大学広報

TEL:048-478-3333 FAX:048-478-3111

## インターンシップ・就職等に関するサポート(一部抜粋)

### ■アカデミック・インターンシップ(マネジメント学部2年生対象)

マネジメント学部の2年生全員を対象に2週間程度の就業体験「アカデミック・インターンシップ」を実施。これは、**必修科目「インターンシップ」のプログラムとして実施**しています。昨年は観光を学ぶ学生が、道の駅もてぎ(栃木県茂木町)で実施したインターンシップに参加。実際に学生が企画したツアー商品が販売されるという成果がありました。また、北海道余市郡仁木町の「株式会社 NIKI Hills ヴィレッジ」において、ワインに関する調査やワイナリーのマーケティング活動、地元・仁木町の町おこし施策の提案、就農体験、地元イベントへの参加などの活動を行いました。ゼミでの研究内容に基づく就労体験をすることで、その後の学びにつなげています。また、体験を共有するための報告会(1年生も参加)も開催しています。



＜北海道余市郡仁木町でのインターンシップ＞



＜銀座NAGANOでのインターンシップ発表会＞



＜インターンシップを通じて商品化された道の駅もてぎ・観光ツアーのパフレット＞

### ■ATOMIインターンシップ(全学部対象)

就職課主催による**全学部の学生を対象としたインターンシップ**。学生が自己責任に基づいて納得できる就職先を見つけ、早期離職や無目的なフリーターにならぬよう、職業意識と職業観を養成することを目的としています。参加を希望する全学生と面談を行い、実務経験を通して将来の生き方や働き方の手がかかり、自己成長が望める研修先を提案。インターンシップ前には、①インターンシップに参加する目的を明確にするための目標設定シートの作成、②履歴書の添削指導、③ビジネスマナーなど事前研修を行っています。実習中は学生が日々の活動をまとめた活動日誌を作成し、受入先企業へ提出。目標設定シートと実習日誌を基に事後研修を実施し、参加学生間での情報共有を行っています。**受入先企業との連携も強化しており、学生の真摯な取組みに対しても高評価をいただいていることから、継続での受入れや、新規の受入れ先が年々増加しています。**

### ■「ゼミ訪問型就職ミニセミナー」の積極的展開

「就職課に就職活動に関する個別相談に行きづらい」という学生の声を受け、ゼミ毎にオーダーメイドでミニセミナーを開催。対象の学年や時期に合わせ、3年次は就職に対する視野の広げ方、4年次は選考に関する質問会などを開催。**ゼミの授業内で実施することで就職課との接点を増やし、実際の就職活動時には個別相談に訪問しやすい環境を整えています。**

### ■女子大学ならではのセミナーや、企業との意見交換会の実施

#### ・女性のための健康セミナー

女性ホルモンの変化によるライフステージごとの生き方、働き方を考えるセミナーを開催。巣立ちを目前に控えた学生たちは女性ならではの体調の悩みや今後起こりうる体調の変化について学び、**就職後の体調管理方法について考えるきっかけ**となりました。



＜女性のための健康セミナーの様子＞

#### ・旅行業界への就職！女子大生本音の意見交換会

日本旅行業協会(JATA)<sup>※1</sup>関東支部との共催でマネジメント学部観光マネジメント学科<sup>※2</sup>の学生約80名(3年生約40名、4年生約40名)と日本旅行業協会に所属する10社12名による「旅行業界への就職！女子大生本音の意見交換会」を開催。旅行業界で働く女性から意見を聞き、実際に働くイメージをつかみました。また、旅行業界各社からは、若者の旅行離れについて女子大生の本音を聞く意見交換会となりました。



＜意見交換会の様子＞

※1 旅行業の健全な発展を図り、旅行の促進と観光事業の発展に貢献することを目的に1959年に設立された業界団体。会員数は1,156社(2015年12月現在)

※2 2015年4月、マネジメント学部観光マネジメント学科を改組し観光コミュニティ学部を設置